

# 健康通信

## 市民病院より

問合先 市民病院 (☎76・4131)

### 生活習慣と遺伝子とがんについて

歯科口腔外科 医長

古江 浩樹



平成27年4月1日付けで小牧市民病院歯科口腔外科に着任しました。大学卒業後は、名古屋大病院で歯科口腔外科疾患の治療、研究を行ってきました。今回、私が研究していました生活習慣と口腔がんとの関係についてご紹介させていただきます。

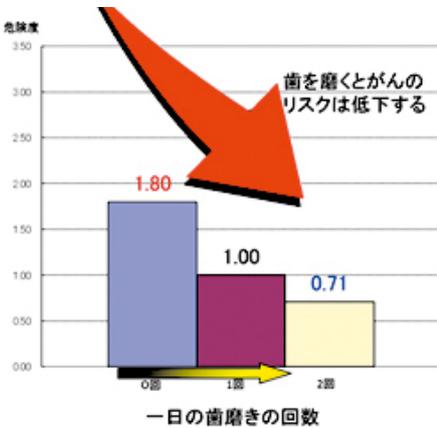
### 口腔がんについて

口腔がんという病気をご存知でしょうか。舌がん、肺がんなどと比べると数は少ないのですが、口の中の舌、頬、歯肉などにできるがんを言います。多くが高齢の方に発症し、治らない口内炎や歯周炎

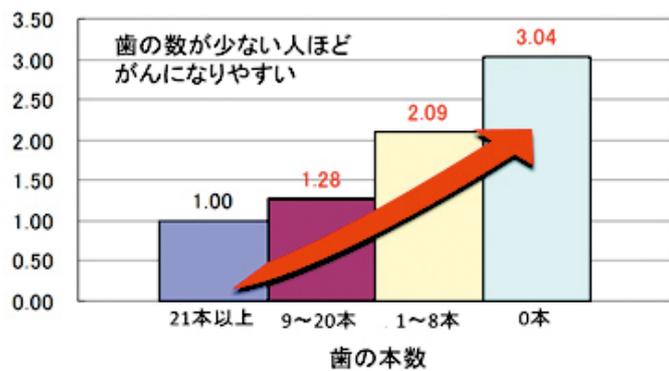
などが自覚症状として最も多いものです。治療を行わないと生命に危険を及ぼす病気です。

### 生活習慣とがんについて

がんの原因は一般的に慢性的な刺激による炎症であると言われてます。口の中の炎症は、喫煙、飲酒が最も関与すると言われています。その他、治療していない虫歯や、合わない入れ歯などによる刺激も原因として考えられています。私たちは愛知県がんセンターとの共同研究で、歯の数が少ない人ほど、また1日の歯磨き回数が少ない人ほど、口腔がんをはじめ、のどや食道のがんが発症しやすいことが分かりました。



口、のど、食道のがんの発症危険度



### 遺伝子と生活習慣とがんについて

同じ量だけ喫煙やお酒を嗜んでいる人もがんにならない人もいればなされる人もいないという事で不思議に感じられたことはないでしょうか。人の遺伝子は4種類の塩基の組み合わせで31億対あるとされていますが、300~500塩基対ごとに1つの塩基が別の塩基に置換する変化がみられます。これらの変化が、ある病気にかかりやすい、かかりにくいという特徴や、薬の副作用が出

る出ないなどの特徴を示すと言われてます。私は、がんに対して免疫反応を生じるリンパ球の強さががんの発症に遺伝的に関係し、喫煙や飲酒による影響を受けることを研究しました。その結果、生活習慣だけでなく遺伝的な要因もがんの発症に関係することが分かりました。現在は研究段階ですが、今後これらの研究が、遺伝子を調べ、生活習慣を改善することで、がんの予防ができる日がくると期待しています。

### お口の管理をしっかりと行う事が大切です

近年、がんだけでなく、糖尿病や、感染性心内膜炎、誤嚥性肺炎など多くの病気が口の衛生状態と関連することが言われています。かかりつけの歯科医院での定期的なお口のチェックを受けて、それらの病気の予防に努めることが大切であると考えています。また治らない口内炎やお口の中に異常を感じられた際は、紹介状を書いていただき、病院を受診することをお勧めします。